

校長室より

「天空高き」



第155号



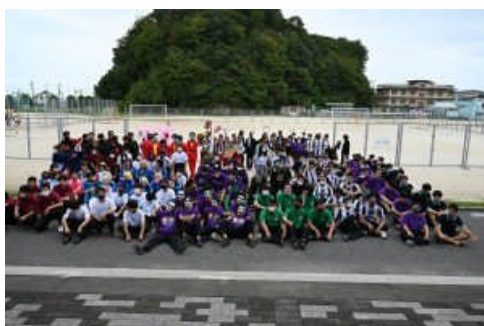
令和4年3月1日

## 旅立ち

卒業生の皆さんにとっては、コロナ禍の3年間でした。

2020年1月16日に国内で初の感染者が確認されました。皆さんは1年生の3学期、3月2日から臨時休業になりました。そして、2年生の5月23日から、学校が再開されました。

皆さんが楽しみにしていた、2年生の時の運動会と修学旅行が中止になりました。本当に残念で、皆さんには大変申し訳なく思っています。



さて、皆さんはこれから大人としての第一歩を踏み出します。

本校の建学の精神、「楽学」の石碑が毎日皆さんを見守ってきました。「楽学」の言葉は、論語の第一章「学びて時に之を習う、亦説ばしからずや、朋有り遠方より来る。亦た楽しからずや。」という一文から引用されたものです。

皆さんが、本校で仲間と学ぶことの楽しさや体を動かすことの楽しさ、そして読書することの楽しさを見つけたとしたら、それが「楽学」です。

また、孔子の言葉に、「これを知る者はこれを好む者に如かず、これを好む者はこれを楽しむ者に如かず。」という言葉があります。どんな天才も努力している者には勝てず、どんなに努力する者も楽しんでいる者には勝てない、という意味です。

脳科学者である茂木健一郎氏も「脳の潜在能力を引き出すためには『楽しむ』感覚が必要。そうでないと潜在能力だけでなく、身に着けたスキル・技能も十分に発揮できない」とある著書で述べられています。今から二千五百年前の孔子の言葉に科学的な根拠があるということは、実に驚きです。

よく英会話の表現の中に、試験や試合に臨むときに、「Just do your best!」ベストを尽くせばいいんですよ、という言葉がよく出てきます。そして、その後に、「Enjoy it and don't forget to smile!」楽しんで、それから笑顔を忘れないでね、と続きます。

試験や試合を楽しむ、そしてリラックスするために笑顔を忘れないで、実にあたたかい励ましの言葉です。

以前は「読み書きソロバン」。これからは「読み書きA!」

皆さんにとって、楽しむことを人生の心構えとすべきです。楽しいことは続けたいになります。それは北京冬季オリンピックでも選手達が心から楽しんでいる姿を目にしたことからわかります。

これからの人生、山あり谷ありでしょうが、ベストを尽くすこと、楽しむこと、そしてどんな時でも心に笑顔を忘れないでください。苦しく、辛い経験がきっと「価値あるもの」になります。

私たち一人ひとりの人生は、列車に例えれば、行き先の分からない、途中下車も後戻りもできない列車に乗車しているようなものです。私たちは、前に進むしかありません。今を、前向きに、変化に対応しながら、一所懸命に！そして、楽しんでください。

3年生の皆さん、卒業誠におめでとうございます。

## 『校犬アカ』の石碑—どこにあるか知っていますか？—

『左後肢不具の茶褐色の日本犬が、昭和34年2月のある朝、ひょっこり学校に来た。

「きたない野良犬」と先生方が追っばらったが、犬は逃げず、かえって人なつくく寄ってくる。

昼食時は足をひこずりながら先生方の机の下を回り、鼻で足をこずいては残飯をねだる。いつか人気者になって学校に居ついてしまった。

夜は玄関前に座ってあたりを警戒する。朝は登校の先生方を校門まで出迎える。昼休みの時間は生徒と遊ぶ。そのうちに警備員の尾崎竺さんと夜の見回りをするようになった。僅かな物音にも耳をそば立てて「ワン」とほえる。尾崎さんのよい助手となった。

これを聞いた私は犬の名を「アカ」とつけ、9月1日から昼食代月額五百円を出すことにした。』

これが朝日新聞全国版に大きく出た。「校犬“アカ”に月給五百円、先生に代って当直、おかげで盗難皆無」の見出し。続いて「サン写真新聞」「毎日グラフ」、さらにNHK、朝日放送がテレビに放映し、全国的な話題になった。



▲ 校犬アカの碑建立（昭和38年）



▲ 当時話題になり「毎日グラフ」に掲載された校犬

そのため多くの人から「アカ」に寄せる手紙や葉書が舞い込んだ。金や食物を送る人もあった。

私は人と犬のつながりの深さにいまさらのように驚いた。「学校犬「アカ」のことを知り、本当にうれしく、目頭が熱くなるのをどうすることも出来ませんでした。どんな雑犬でも人間の愛情で優秀犬になります。犬取りに取られないよう充分注意してあげてください。同封の金三百円は僅かでお恥ずかしゅうございますが、夕食代の足しにしてください。」

これは大阪府豊中市服部本町、松本愛子さんからの手紙。そのころ葉書が五円、封書が十円だった。

「宮川校長先生はじめ諸先生に厚くお礼申し上げます。わたしはもの言わぬ動物をいたわりかわいがる人を尊敬するからでございます。いま家に雑犬二頭おりますが、どちらも捨て犬です。わたしはこれまで延べ五十六頭の捨て犬を小犬から育てました。そんなことであの記事に吸い付けられ、「アカ」に『よかったなあ、よかったなあ』と言ってやりたい心でいっぱいです」

これは大阪市旭区一女件の名で千円同封。

「朝は、校長先生ら諸先生、夜は校内警備の助手をする「アカ」に風邪をひかせないように、温かいものを食べさせてください。僅少ですが千円同封いたします」

これは和歌山市坊主町の寺本桜さん。

ところが、4年目の38年5月18日、野犬に襲われて重傷、翌19日午前2時死んだ。生徒会は「アカの碑」建てた。その碑は今、陸橋を渡った駐車場の横にある。

野良犬に「アカ」と命名し、昼食代月額500円を支給。ウソのような本当の話で、皆さんもビックリされたと思いますが、高水の誇れる、心温まる58年前の出来事でした。

## 1%を誰かのために一当たり前のことを当たり前にできる幸せー

「三度のご飯が食べられること、家族と一緒にいられることが人間の幸せ」。アフガニスタンで人道支援活動続けるNGO「ペシャワール会」の現地代表で、医師の中村哲さんの言葉です。

中村さんは2019年12月4日朝、東部ナンガルハル州ジャララーバードで車に乗っていたところを武装集団に襲われ、銃撃により殺害されました。アフガニスタンにとっても日本にとっても非常に残念な大きな損失でした。

皆さんにとって中村さんの言葉が当たり前と思っていれば、それはとても幸せなことです。

本が読める、音楽が聴ける、自由に身体を動かせる、皆さには当たり前のことです



が、できない人もたくさんおられます。私達にとって当たり前のこと、当り前にできることは、本当にとっても幸せなことです。

皆さんの 1%を誰かのために、目を向ける、耳を傾ける、奉仕することで、見方や考え方が広く深くなり、より豊かな人生を送ることができます。

## 3月の月間目標

### 一步前へ

令和3年度  
チャレンジ目標

- 1 明るい挨拶
- 2 5分前行動
- 3 交通ルールを守る
- 4 1%を誰かのために

大学時代の友人から大事なことを教わりました。彼は代々京都の人間で、おおらかでくよくよしない性格です。何事に対しても、ゆっくりと焦ることなくマイペースです。時々うまく行かないときでも、「しょうがない」が口癖です。もう諦めたのかと思っていたら、今度は別の方法で、また、のんびりと（私から見ると）やり始めます。

彼から学んだことは、自分で決めたことは、前向きに周囲に流されることなく、マイペースで、諦めないことでした。

これまでの自分が、自分で決めたことなのに、絶えず周りの目（評価）を気にしながらやっていたことに気付かされました。

皆さんはどうですか？

自分の人生です。自分の人生は自分で決めることです。

## 二十四節気

『啓蟄（けいちつ）』3月5日。

啓は「ひらく」、蟄（ちつ）は「土中で冬ごもりしている虫」の意味で、大地が暖まり冬眠していた虫が、春の訪れを感じ、穴から出てくる頃。菰（こも）はずしを啓蟄の恒例行事にしているところが多いです。

まだまだ寒い時節ではありますが、一雨ごとに気温が上がり、日差しも徐々に暖かくなってきます。春雷がひときわ大きくなりやすい時季でもあります。八百屋さんの店先に山菜が並び始めます。旬の食材で春の訪れを味わいましょう。

『春分（しゅんぶん）』3月21日

太陽が真東から昇って真西に沈み、昼と夜の長さがほぼ同じになります。この日から夏至まで昼がだんだん長くなり、夜が短くなります。ヨーロッパなどでは、春分をもって春の始まりとしています。

雷が稲光り雷声が轟き始める時季でもあります。「暑さ寒さも彼岸まで」という言葉があるように、寒さは和らぎ過ごしやすい季節になります。桜の開花情報が聞かれるのもこの頃からです。

日本の行事・暦